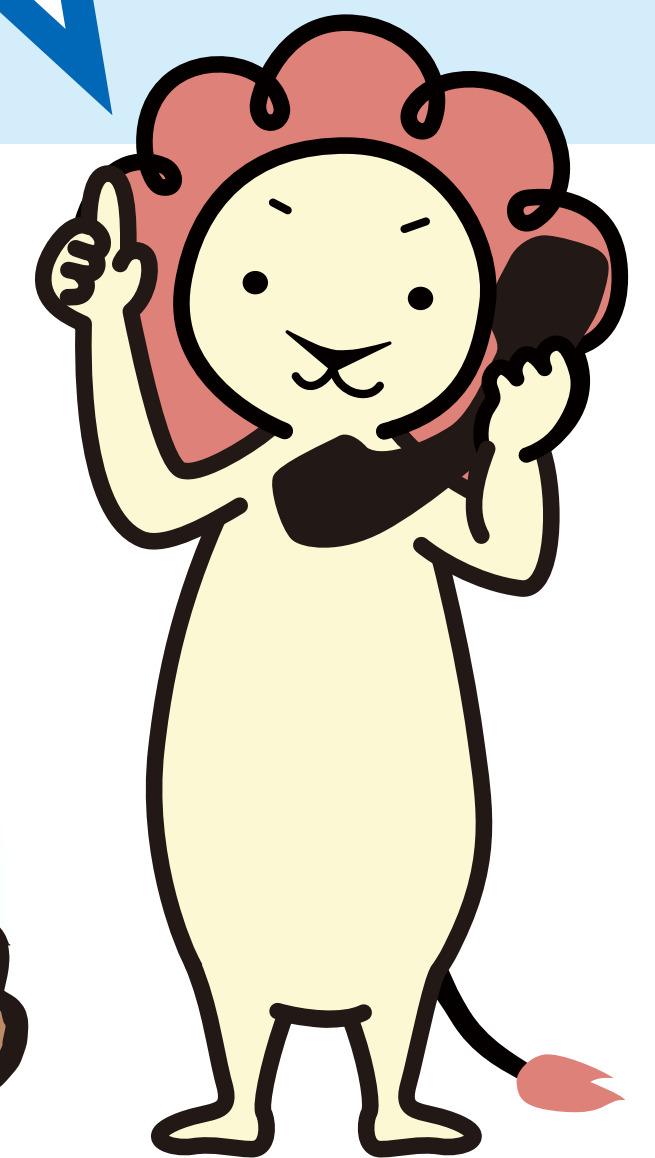


クリーニング トラブル

トラブルが起きても
原因の特定が困難な
ケースが多く、
解決が難しいものも
あります

多いトラブルは？

「変色、色落ち」「紛失」「伸縮」「シミ」などのほかに、「ボタンの変化」「型崩れ」「汚れが落ちていない」「アイロンのかけ方が悪い」「ファスナーが壊れた」「他人のものと取り違っていた」など



トラブル防止のために

- 「変色」「シミ」などのトラブルは、衣料品を出すときに「シミの有無」「処理方法」などを店側と確認することで、かなりの場合防ぐことができます。
- 時間がたつと原因の特定が難しくなるので、なるべく早く引き取りに行きましょう。
- ビニールカバーはほこりよけ。かけたままだと衣類を変色させることもあるため、はずして仕上がりを確認し、収納しましょう。

アドバイス

- **トラブルが生じたら、クリーニング店に説明を求めるとともに、よく話し合うことが大切です。**
- クリーニング事故により損害の補償を求める場合、Sマーク登録店、LDマーク加盟店においては、「クリーニング事故賠償基準」に基づいた対応がなされるため、お店選びの参考になります。



〈Sマーク〉



〈LDマーク〉

ご相談は **市町村消費生活相談窓口** 又は **鳥取県消費生活センター** へ